

一人ひとりにあった、生きる力をつけるためのキャリア教育はどうあるべきか
～小・中における授業実践を通して～

I 研究の内容

1 研究方法

- (1) 小学校・中学校ともに授業実践を行う。
- (2) 各教科の授業とキャリア諸能力との関連を明らかにし、各校から実践例をもちより共有する。
- (3) 高等学校より講師を招聘し、高校入試制度の課題を検証する。

2 研究の具体的内容

(1) 授業実践

①大和中学校（鮎澤智美教諭）第2学年国語科

根拠を明確にして意見を書こう 「意見文を書く」

〈人間関係形成能力・社会形成能力〉

目標 ・経験に関わる事柄や問題に対して自分の意見を筋道立てて文章を書くこと、またそれを聞き合うことで、考えを広めていく力を伸ばす。

【導入】 ○意見文を読みあい、良い点や改善点を考える。

【展開】 ○グループごとに意見文の交流をする。

○どんな良い点や改善点が出たか、全体で発表する。

○題名をつける。

【まとめ】 ○意見文を読み合い、良い点や改善点を考えられたか、まとめをする。

②山梨北中学校（小林直子教諭）第2学年音楽科

構成を工夫して旋律をつくろう

目標 ・和音や旋律の重なり方などの特徴を生かし、「カントリーロード」に副次的な旋律をつくる。〈課題解決能力、人間関係形成・社会形成能力〉

【導入】 ○和音について復習し、「カントリーロード」の二分音符に和音の構成音を入れて演奏する。

【展開】 ○リコーダー曲「かっこう」の旋律の重なり方と「聖者の行進」の旋律の重なり方のパターンを確認し、「カントリーロード」について旋律の重なり方のプランを話し合い、グループで創作する。

○創作した旋律を二つのパートで演奏する。

【まとめ】 ○全体で発表し、聞き合い、創作する上で工夫したことをまとめ、副次的な旋律づくりで感じたことを発表する。

(2) 実践・資料発表

- 塩山北中 英語科授業例, キャリア教育年間指導計画の紹介
祝小 算数科授業例, キャリア教育年間指導計画の紹介
日下部小 通級指導教室における実践例
山梨南中 社会科授業例
山梨北中 音楽科授業例 (第2学年)「構成を工夫して旋律をつくろう」
笛川中 国語科授業例
塩山中 総合的な学習授業例, キャリア教育年間指導計画の紹介
松里中 総合的な学習授業例, 社会体験実践の紹介
勝沼中 英語科授業例,
大和中 国語科 (第2学年)「根拠を明確にして意見を書こう～意見文を書く～」

II 成果と課題

1 成果

- ・キャリア教育を教科に取り入れることは特別なことではなく、教える側がどう意識するかが大切であることを改めて確認することができたよい機会となった。
- ・他校種・他教科の授業を参観したり、キャリア教育の視点を柱にした授業実践の報告があったりして、どんな視点でキャリア教育を取り入れればいいのか学べたり、教科指導について学べたりすることができた。
- ・他校の実践資料によりキャリアの視点がより明確になってきた。
- ・統一授業研究で、一人一人に丁寧に関わり考えを尊重しながら進めていく実践・仲間を尊重しながら協力して活動する姿を見ることができた。社会に出てからも必要な人間関係形成能力が身についていたと思う。
- ・多くの授業・活動実践の報告・討議により、学習・学校生活の全般において、キャリア教育の学びが行えることを、改めて学ぶことができた。
- ・高校教諭から話を聞く機会があってよかった。今後のキャリア教育に参考になる。

2 課題

- ・小中連携して何かキャリア教育の道筋が作れないだろうか。
- ・たくさんの先生方に部会に入っただき、もっとたくさんの実践から学べるとよい。
- ・統一して「こういうことに取り組んでみよう」というものがあって、それに沿った実践ができれば、討議に深まりが出ると思う。
- ・グループ活動や対話的な学びをより深い学習に結べ付けるための手立てなど、意見交流できるとよい。

III 研究の成果物

- 中学校2年(国語科)学習指導案
中学校2年(音楽科)学習指導案
各校実践レポート

(部長 小林 淳子)